

ファイナカット HS-100G型オプション各種

1. 主軸上下逃げ装置

切断完了後のクイックリターン時にブレードが上昇・下降するシステムです。

2. 主軸上下自動切断

主軸上下切断が自動で行えます。

3. 自動ステッピング装置

テーブル横送りと切込送りが自動連動するスライスシステムです。

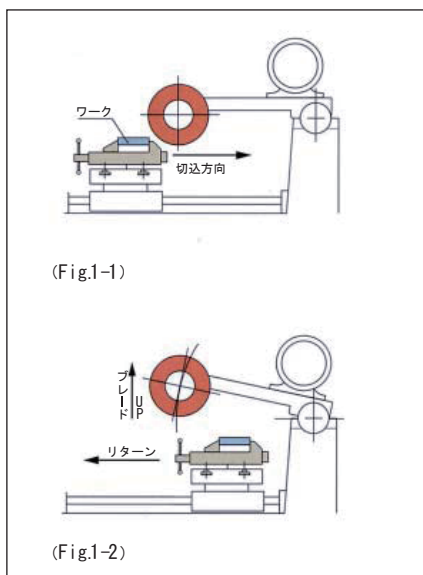
4. オートサイクル

自動切断のサイクルを繰り返し行う連続切断システムです。

※各システムの詳細に付きましては、別途お問い合わせください。
※切断素材の形状により各機能に適用しない場合があります。

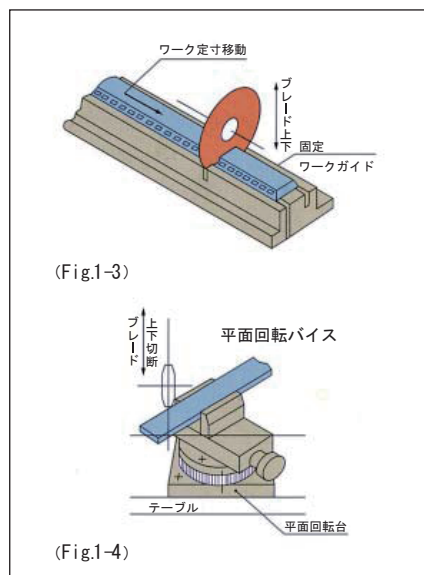
1. 主軸上下逃げ装置

ブレードに対して水平切込となっており、切断後、標準機は切断面を通してテーブルがリターンしてきます。従って、お仕事の性質によっては一度切断した断面を保護するため、切り終わると同時にブレードが上昇し製品のリターンが完了した時点で再び、ブレードが設定位置まで下降するシステムです。(Fig.1-1、1-2)



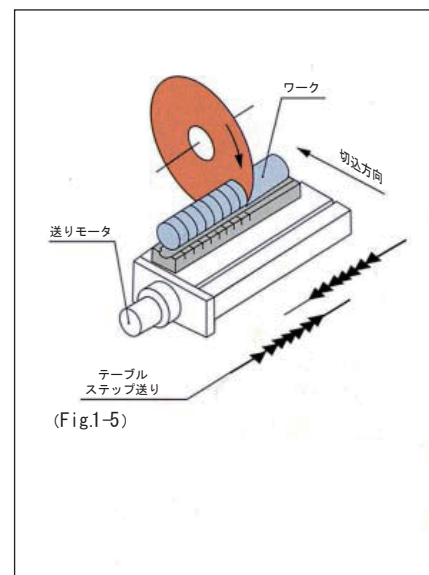
2. 主軸上下自動切断

標準の水平切込に対して主軸上下自動切断はブレードを上下させてカッティングします。ワークが比較的小径材である場合極めて効果的なカッティングスピードが得られます。(Fig.1-3、1-4)



3. ステッピング装置

ステッピング送り装置とワークテーブルが連動し、ワークの寸法設定が自動的に行われます。水平切込、主軸上下切込の両方向に組込めます。(Fig.1-5)



4. オートサイクル

標準の場合は切断送り→リターンで1サイクルが完了し、機械は自動的に停止しますが、オートサイクル式の場合、ブレードアップ・ダウン、テーブルのステッピング移動などと組み合わせ、シーケンス操作で計画したオート操作が連続して行われるシステムです。

これにはスタート位置から切込開始までテーブルの早送りが組み込まれ、中間作動の時間的な短縮もでき高エネルギーが得られます。(Fig.1-6)

